

滋賀でも感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症。1月19日段階で約1,800名の方が感染され、残念ながら19名がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

亡くなられた方のほとんどは70代以上の方です。病床がひっ迫し、経路不明感染30%以上と市中感染の広がりも懸念される中、重症化リスクの高い方達をいかに守り抜くか。コロナ対策を主要所管とする特別委員会副委員長として、三日月知事とも力を合わせて頑張っています。どうぞよろしくお祈り致します。



Topics

● コロナ対策特別委員会緊急開催!

● 11月定例会議報告

児童養護施設退所者に県営住宅単身入居の道が開かれる!

● 令和3年度予算に向けて

小川 やすえ

滋賀県議会議員

● プロフィール ●

- 徳島県鳴門市出身 ● 岡山大学文学部卒業 ● 1996年滋賀へ ● 1997年子育てや女性の一步を応援する「びいめ〜る企画室」創設。情報紙発行、コミュニティカフェ運営等に携わる
- 2011年〜2014年守山市議会議員
- 2019年〜滋賀県議会議員

新型コロナに立ち向かう! 滋賀県最新情報

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、1月20日、コロナ対策を主要所管とする特別委員会（行財政・新型コロナウイルス感染症等危機管理対策特別委員会）が急ぎ開催され、副委員長として審議し県としてできる対策のさらなる推進を提言しました。

新型コロナ・滋賀県の現状

年明けに県内でも急速に感染拡大が進み、最多感染者数を更新し「現在確保病床占有率」が一時90%を越え「医療体制非常事態」が宣言され、県民のみならず大きな不安を与える事態となっていました。感染動向調査から、年末年始に若者を中心に飲食の機会が多かったことや、県外での飲食が要因のひとつと見られましたが、以降みなさまのご協力のおかげで感染者数は減少し、病床の拡充などが進んだこともあり、少し落ち着いた状態となりました。しかし、重症者病床の占有率は40%と高止まりしており、まだまだ予断は許されない状況です。



■ 受診・検査体制の状況

昨年整備された「発熱等の場合は、地域のかかりつけ医等に電話で相談し、受診・検査につなげる」制度が機能してきており、検査できる機関510ヶ所、検査可能数は一日当たり800件と拡大し、「医師が必要と判断した人」は滞り無く検査できる体制となっています。最近では県内のドラッグストアでも検査キットが売られており、民間検査で陽性が出た場合は、かかりつけ医ルートで行政検査につなげられることを確認しました。

■ 入院体制

最大確保病床を280床から347床に計画を見直すことになりました。これまでコロナの診療を受け入れていなかった病院にも依頼し、ここ数日で現在確保病床も285まで拡大しており、1月19日段階で空床数101と少し余裕が出てきました。

■ 宿泊療養施設

現在大津と彦根に2施設計271室確保していますが、スタッフに関しては派遣を活用して充足していますが、マスク等でも報道されている「掃除」の課題もあり稼働率は50%程度となっています。コロナ対応がしっかりできる清掃業者を調整するとともに、「母数」を増やすために湖南地域にもう1施設100室を2月上旬までに確保する予定です。



医療従事者や高齢者施設関係者などに「社会的検査」を!

日本財団が介護従事者への定期的PCR検査を無料で行うという発表があったように、重症化リスクの高い方達を守るためには、従事者の方達への検査が必要ではと訴えました。プール方式など現実的な手法を引き続き提案したいと思います。



「自宅療養」には細心の注意と配慮を!

1月19日段階で本人希望による在宅療養者が43名出ています。現在は保健所による健康観察等サポートは滞り無く行われているということですが、今後病床がひっ迫し行政から在宅療養を依頼するような事態となった場合は、市町としっかり連携し、健康面、生活面とのサポート体制を今のうちに構築しておくべきと要望しました。



独自の緊急事態宣言等もっと強いメッセージが必要では?

現段階で国の緊急事態宣言ステージ判断指標7つのうち超えているものは2つに留まり、国としての宣言はできない状況ですが、近隣の感染者数が高止まりしている状況を鑑みると、早い段階で県独自の「緊急事態宣言」を发出し、県民や他府県に対してより強いメッセージを出すべきではないかと訴え、「時期を見ながら状況に適したメッセージを発信することが大切だと思う」との答弁を得ました。滋賀県では「近隣の緊急事態宣言を踏まえた対応」として具体的な行動様式を示しており、ぜひともチェックしていただき、ひとりひとりの行動の再確認をお願い致します。

近隣府県の緊急事態宣言を踏まえた対応



11月定例会議報告

知事 ▼ポウガンについては本県では青少年育成条例により「有害玩具」として指定され、一定の規制が行われていること、また、インターネット販売が8割を占めることなどから、規制強化には、全国的な対応が必要である。(裏面に続く)

● 動物虐待が対人暴力と連動しているリスクがかなり高いという知見もある。ポウガンの規制強化が必要ではないか。

● 動物虐待が対人暴力と連動しているリスクがかなり高いという知見もある。ポウガンの規制強化が必要ではないか。

● ボウガンが使用された事件の状況は警察本部長 ▼平成22年から令和2年6月末までの検挙状況は、全国では、刑法犯23件、特別法犯9件の合計32件。本県での発生は平成30年に猿に対する「鳥獣の保護法」違反事件が1件、令和2年に猫に対する「動物愛護法」違反事件が2件で、うち2件が検挙されている。

ボウガンの規制強化について



質問の様子は滋賀県議会ホームページの録画でもご覧頂けます。



<https://www.shigaken-gikai.jp/>

11月定例会議一般質問

11月定例会議は、PCR検査の拡充や市町と連携したワクチン接種体制の確保、ひとり親世帯への臨時特別給付金の再支給、県制度融資の期間延長等総額50億円余の補正予算を可決し、12月21日閉会しました。新型コロナワクチン接種体制の整備が市町を実施主体としてこれから急ピッチで進む予定です。

児童養護施設を退所する若者に県営住宅単身入居の道が開かれる!

現在、警察庁においても対応が検討されており、近畿ブロック知事会議としても、国に対しクロスボウの販売、所持、製造、輸入について法令による規制を要望することとしている。

国の検討も加速して来ている。人的欠格事由などがしっかりと盛り込まれた実効性のある規制とするために、滋賀県としても引き続き国に働きかけていきたい。

公営住宅の在り方について



●現在県営住宅は「家族入居」が基本となるため、「住宅セーフティネット法」に基づき定められている「児童虐待を受けたもの」「住宅確保配慮者」でも単身では入居応募できない場合がある。しかし、●公営住宅法では既に「同居親族要件」は削除されていること、●応募倍率の低下や空き室が増えていること、などを鑑みても、「単身入居要件」を緩和して、「児童養護施設等退所者」等が入居応募できるようにすべきではないか。

土木交通部長 ▼県営住宅の空き住戸が一定数存在し、また総世帯に占める単身世帯の割合が増加する中で、住宅に困窮した低所得の方が、一人でも多く入居できるように、**単身入居要件を見直していく**。他府県の事例も参考に市町の意見を聞きながら**具体的な内容を検討していく**。

他県では「単身入居要件の削除」としたところも複数あり、住宅セーフティネットの中核としての役割をしっかりと果たせるよう、引き続き訴えてまいります。



「進める」との答弁を得た時は感無量でした。児童虐待を受けたもの、ひいては児童養護施設退所者への居住支援について問うのは、3回目でした。家族から虐待されて家族と暮らすことができず、社会的養護で育った若者たちが、自立への一歩を踏み出そうとする時に、今度は家族が居ないという理由で排除される。あまりにも理不尽ではないか、との思いからです。国の法整備が進んでも、地域では追いついていないところも多々あります。今後も「母」「女性」「生活者」として、小さな声の代弁者として発言してまいります。

教育・文化スポーツ常任委員会



2020年12月14日、15日と常任委員会が開かれました。付託された補正予算審議の他、●国スポ延期に伴う国の財政支援について●近代美術館の再オープンに向けて●令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果等の概要●小児保健医療センター・療育部・守山養護学校の一体的整備について 等が報告されました。

私からは、●高校の不登校について、人数は減ったが全国比較では依然高い水準にある。調査結果を見ると、一年時での勉強不振によるものが多く、高校進学時の進路選択に課題があるのでは。●小児保健医療センターの整備に関して、診療科の充実や、パークPFIを活用して飲食店等市民が憩える場づくりなども検討してはどうか。●コロナ感染拡大の中で県立高の修学旅行が行われており保護者から不安の声が届いている。キャンセル料は臨時交付金の充当も可能なはず。保護者の負担軽減策を講じるべきでは。等の発言をさせていただきました。

令和3年度予算聴取



1月7日より4日間にわたって、令和3年度予算見積もり及び2月議会補正予算の会派聴取が行われました。令和3年度予算は、コロナの影響で税収減が見込まれる中ですが、コロナ対策や国土強靱化対策予算が増大し、令和2年度当初比17.1%増で当初予算としては初の6,000億円を突破。歳入6,415億円、歳出6,682億円(うちコロナ関連1,021億円)となり、約267億円の収支不足となります。財政調整基金取り崩しや県債発行で対応予定ですが、基金残高に注視しながら、県民にとって必要な事業なのかどうかをしっかりと精査してまいります。

地域活動報告

年末恒例「もりやま市」



12月20日、感染対策を行いコロナ禍の中でも元気に開催されました!たくさんの方と出会い、お話しして、買い物して、たのしい時間でした!



幸津川の「幸福赤飯」と、守山梨のコンフィチュール



もりやま卑弥呼さまもコロナ対策の広報

グランドメゾン お餅つき



地元マンション恒例のお餅つきも感染対策を行い開催。お疲れ様でした!



中洲ふれあいの灯



守山市制施行50周年記念事業のイベントとして令和元年12月8日に開催されギネス認定された「灯りつなぐ、守山2019」。51,626枚のメッセージカードを飾った中洲小学校のメタセコイアの木に、2020年も灯りが灯りました。コロナ禍の中の希望の灯りとなりますように!!



2019年ギネスに認定された時の様子



ライオンズクラブで守山北高、市役所での献血のお手伝い。寒い中、たくさんの方が来て下さり、感謝です!

守山学園クラウドファンディング



児童養護施設守山学園さんでは、施設建て替えのための資金をクラウドファンディングで募集されています。ぜひご協力!

#子どもに家を
親と暮らせない子ども達の
おうちづくりを応援してください!
目標 **1億円**
虐待で保護された子どもたちに
安心・安全な住まいを提供したい!
児童養護施設 守山学園



<http://moriyama-gakuen.jp/>